

緊急事態！

管内で死亡事故が連続して発生しています！

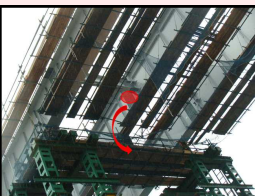
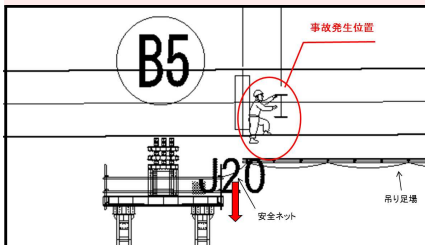
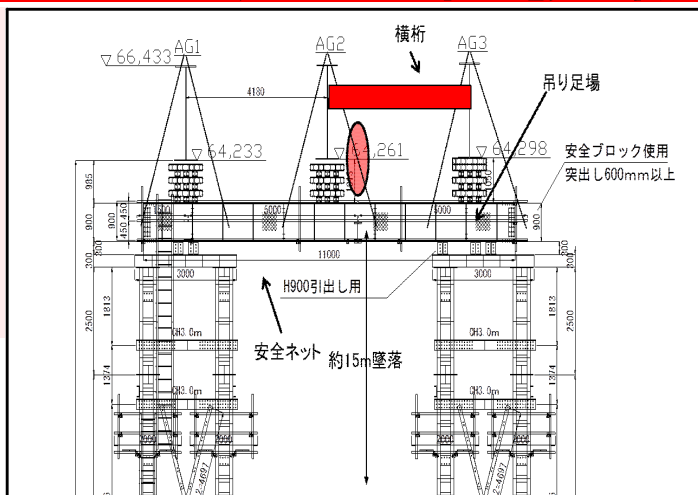
橋梁架設中に作業員が安全ネットに転落→ネットが外れ15m下の地面に転落

【事故概要】

作業員が横桁架設作業のため、足場板から0.9m上にある横桁下フランジ上面に上ろうとした際、足を滑らせ吊り足場の安全ネットに落下した。その衝撃でネット結束部が外れ15m下の地面(路面)に転落したと見られる

【事故原因】

事故の原因については現在調査中であり、再発防止策も含め今後検討を行います。



足場から横桁に上ろうとした際に転落した

橋梁架設現場での墜落災害は死亡事故の危険性が高いため各現場でも安全対策はとられていると思いますが、今回、作業員が転落死する事故が起きました。

各現場におかれましては今一度、下記点検の徹底をお願いします。

- 足場設備に危険箇所が無いかわきの点検の徹底
- 安全帯が必要な作業では、安全帯着用の徹底(特にフックをかける習慣を徹底させる)

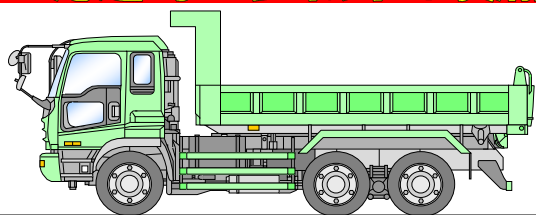
土砂運搬中のダンプが信号待ちからの発進時に自転車と接触

【事故概要】

発生土を積んだダンプが信号待ちの停車から発進する際、前にいた自転車に乗った女性に気づかず轢いた。

【事故原因】

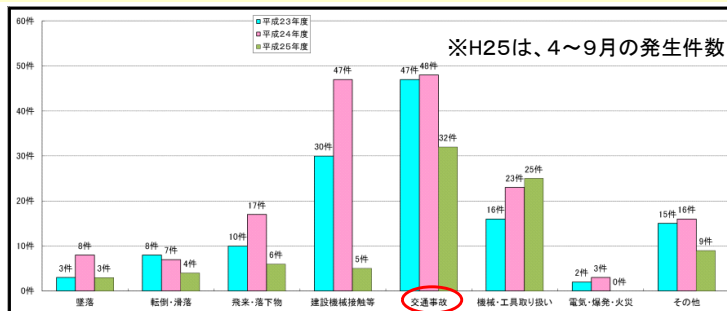
事故の原因については現在調査中であり、再発防止策も含め今後検討を行います。



大型車両は死角が多いため特に注意が必要！

今回、ダンプが信号待ちからの発進時に自転車を轢くという第三者死亡事故が起きましたが、昨年度も同様の死亡事故(ダンプが信号で停車から発進時に歩行者を轢く)が発生しています。また工事車両が一般道で起こす交通事故は毎月のように発生しており、事故件数の中でも大きな割合を占めています。

交通事故は運転手の不注意で起こることがほとんどのため、有効な教育は難しいと思いますが、うるさく言い続けることで意識の向上を図ることができると考えています。各現場においては交通安全教育の強化をお願いします。



架設桁をジャッキアップ中に横ずれを起こし転倒 作業員が桁受け材に足をはさまれ骨折

【事故概要】

架設桁のジャッキアップ作業中、2台のジャッキのうち、片方のジャッキのセット位置が不適切だったため、架設桁の横ずれ(1m)を起こした。架設桁がずれたことにより、主桁と架設桁の間に仕込んでいた横梁(H350×350×4m)と受材(C250×90×2m)が倒れ、作業に当たっていた作業員のうち1名が受材と主桁に左足かかとを挟まれ被災した。

■被害の程度■

・左足踵開放骨折、左足第2第3第4中足骨骨折、左アキレス腱断裂(全治1ヶ月以上)

〔事故原因〕

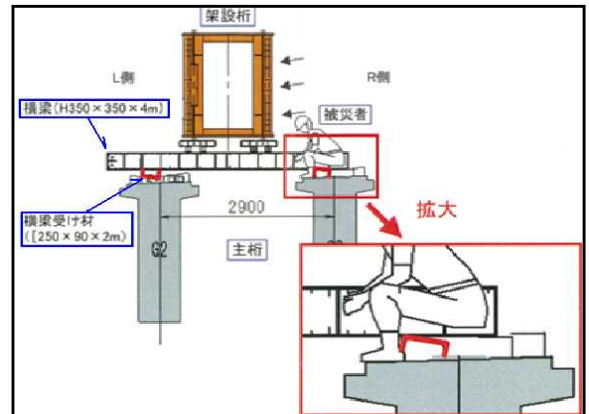
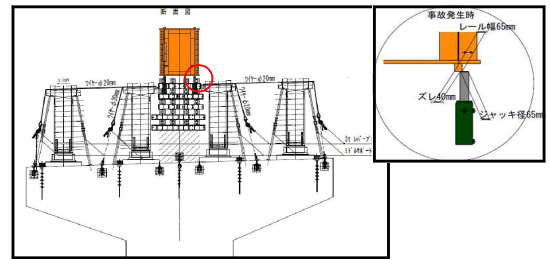
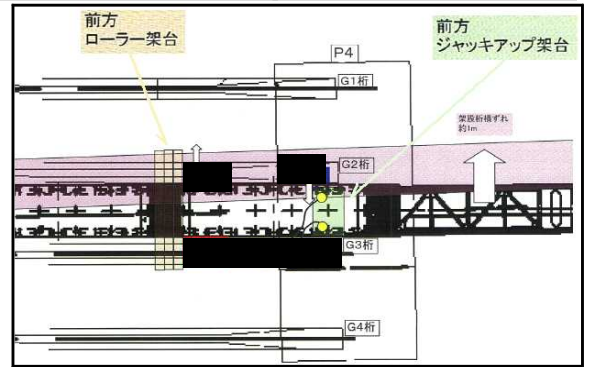
・仮設桁押上用ジャッキを架設桁下側レール(幅65mm)の中心にセットすべきところ、偏心(約40mm)した位置にセットされていたが、元請け職員、下請け職長は気付かなかった。また横梁と受材がボルト結合されていないかった。

〈再発防止策〉

- ジャッキに芯ずれ防止金具を設置
- 各ジャッキに監視員を配置

本件、架設桁が横ずれを起こし、架設桁が乗っていた横梁、受材が倒れた事故ですが、重大事故につながる危険が高かった事故と考えられます。作業標準では横梁と受材はボルトで固定することになっているところがされておらず、またジャッキのセット位置の確認も不十分なまま作業が進められており、ずさんな管理体制の結果起きた事故といえます。

各現場においても作業標準の遵守の徹底をお願いします。



トンネル支保工立込作業中に支保工が倒れ、作業員が挟まれる

【事故概要】

エレクターを使用した支保工建込み作業中、右側上部にアタリ(掘削不足)があり、ハツリ作業を行う必要が生じた。

ハツリ作業を行うため、切羽と支保工との間に隙間を作ろうとして、支保工を手前に倒す操作を行った際、チャック部から支保工から外れ、手前側に倒れた。(建込み作業の際に緩めた油圧チャックを、挟み絞めを行わないまま、手前に引く操作を行った。)

エレクターのバスケットにいた作業員が、手摺と支保工との間に上腹部を挟まれ被災した。

■被害の程度■

・外傷性肝損傷(全治1ヶ月)

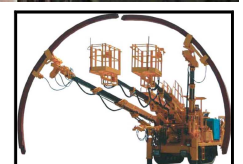
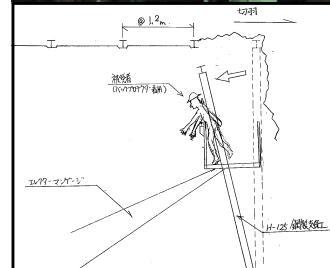
〔事故原因〕

- ・エレクターの油圧チャックの緩みを確認せずブームを操作した
- ・作業員の待避を確認せずにブームを操作した

〈再発防止策〉

- ブーム操作は作業員の待避を確認してから行う。

オペレーターの操作ミスが事故の直接的な原因ですが、作業員を待避させていなかったのが事故の大きな原因です。またトンネル工事では作業員と重機、資材が狭い空間の中で作業することになるため、資材の飛来・落下に加え重機との接触事故にも十分木をつけるようお願いします。



支保工を建て込もうとしたが、掘削不足があったため一旦戻そうとした